



# 太工通信

## 令和3年度 第23号

### 選挙出前授業

週刊風っ子 SDGsプロジェクト

企画・制作 / 上毛新聞社営業局  
後援 / 群馬県、群馬県教育委員会

16 平和と公正をすべての人に SDGsを学ぼう⑬  
太田工業高

4 質の高い教育をみんなに

選挙出前授業を受ける太田工業高校の2年生

県立太田工業高校で1月下旬、2年生172人が参加して選挙出前授業が開かれました。これは、将来の有権者である小中学生や高校生、有権者になったばかりの高校生などを対象に、選挙や政治に関する理解を深めることを目的に、県選挙管理委員会が申し込みのあった学校に出向いて行うものです。基本的な選挙制度について学んだり、投票の意義を知ったりという六つのコースがあります。今回は、選挙の大切さについて学んだ後、実際の投票や開票を体験しました。最初に「選挙とは代表者を投票によって選ぶこと」や「政治はみんなに関わるもの」であることを聞き、選挙の

大切さを学びました。職員が「近年、県内で行われた選挙の投票率は、ほとんど50%前後

で、中でも10~20代は30%しか選挙に行っていない」と話し、投票率が低い理由を説明すると、みんなは真剣に聞き入っていました。次に自らが候補者となってターゲットや政策をワークシートにまとめたり、候補者の情報を集める方法を聞いたりしながら、政策を多角的に見つめる大切さも教わりました。その後、投票箱や投票記載台を使って模擬選挙を実施。受付係や選挙立会人役の生徒が並ぶ中、投票用紙を受け取って自分が選んだ候補者を投票用紙に書いて投票をするという本番さながらの模擬投票と、開票までを体験しました。

身の回りだけでなく世界で起きていることを知り、政治に参加することは、SDGsの目標16の達成につながります。生徒会で書記を務める五十嵐翔太さんは「選挙は本人だけのものではない。選挙の意義がよく分かりました」と、山形大智さんは「選挙は自分たちの将来を決める大事なものであることが分かりました。絶対に選挙に行きます」と力強く話していました。

模擬投票でもドキドキ

群馬県立太田工業高等学校  
瀧川豊宏校長 生徒数528人  
太田市茂木町380番地  
☎0276・45・4742  
HP <https://tako-hs.gsn.ed.jp/>

昨年、創立60周年を迎えた歴史と伝統ある工業高校。運動部、文化部ともに活発で関東大会や全国大会に出場しています。生徒一人一人が自分の適正や興味・関心に合った充実した進路選択で、就職・進学を果たしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

群馬県のマスコット「くんまちゃん」  
評定第2020-110598号